

本格麦焼酎「草戸千軒」発売！

広島県立歴史博物館ミュージアムショップ



遺跡をイメージした
麦焼酎「草戸千軒」

施設PRへ麦焼酎発売 福山の歴史博物館

福山市の広島県立歴史博物館の売店が、麦焼酎「草戸千軒」を発売した。目立った土産がない同館をPRしようと、売店を運営する社会福祉法人アンダンテ（福山市）が企画した。「遺跡をイメージした奥深い味を楽しんで」と呼び掛ける。

ブランデーの古だるとオークたるで熟成させた麦焼酎をブレンド。香り高くまろやかな口当たり仕上げた。芦田川の中州から出土した草戸千軒町遺跡のイメージから、ラベルにシラサギとアシを描いた。同遺跡のほか、江戸後期の儒学者菅茶山を中心とした同館の展示内容も紹介している。包装紙には遺跡のイラストを採用した。

同法人理事の池田晴美さん(59)が売店の名物商品をつくらうと、倉敷市の妹尾酒造本店に製造を依頼。歴史ファンやお年寄りをターゲットに売り出した。720ミリ入り1800円。池田さんは「お土産にしてもらい、市内の歴史の魅力を県内外の人に知ってほしい」と話す。
(原末緒)

2021年12月10日 中国新聞